

直近の地震発生時の対応を活かせ



東京地方に最大震度7の直下地震が発生、同時多発的に災害が発生し、甚大な被害が出ている！こうした想定で10月25日から27日の三日間、方面震災図上訓練が実施されました。署震災対策本部では続々と飛び込んでくる災害に編成された消防隊の運用と消防団との連携、区や交通機関、病院施設からの情報収集などが短時間に展開されました。同月7日の震度5強の揺れを観測した千葉県北西部を震源とする地震の検証結果が活かされ、終始緊迫した実戦的な訓練は多くの収穫を得て終了しました。